

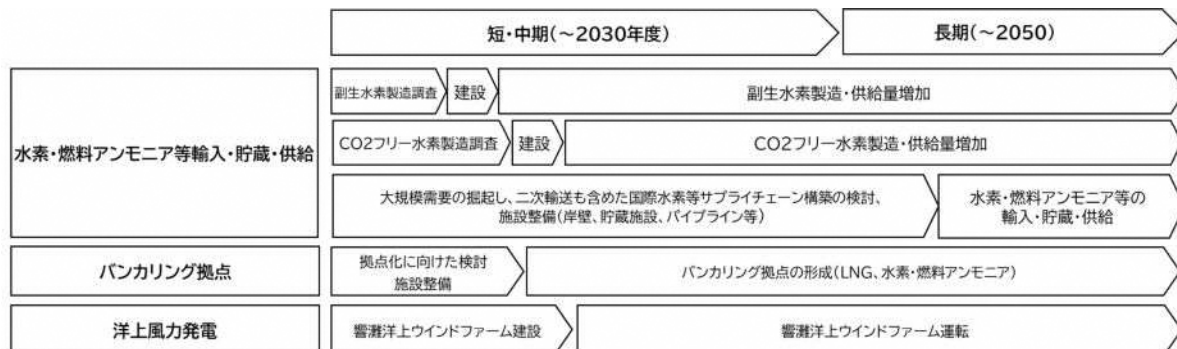
7. ロードマップ

北九州港のCNP形成に向けて、現時点で想定されている取組について、ロードマップを表8及び表9に示す。

なお、今後新たな取組が見込まれる際には、適宜、ロードマップに追加する。

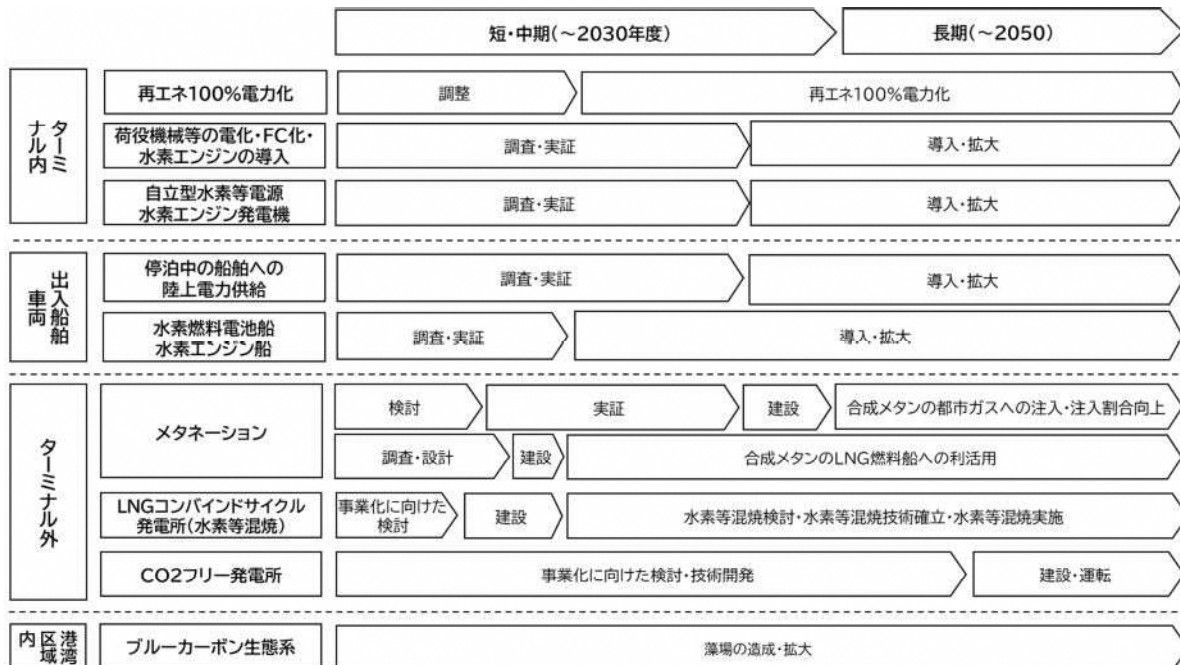
(1) 水素・燃料アンモニア等のサプライチェーンの拠点としての受入環境の整備

表8 北九州港 水素・燃料アンモニア等受入施設整備計画



(2) 港湾地域の面的・効率的な脱炭素化

表9 北九州港 脱炭素化の取組計画



用語集

番号	用語	定義・説明
1	カーボンニュートラルポート (CNP)	国際物流の結節点・産業拠点となる港湾において、水素・燃料アンモニア等の大量・安定・安価な輸入や貯蔵等を可能とする受入環境の整備や、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化、集積する臨海部産業との連携等を通じて温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを指すもの。
2	グリーン水素	CO ₂ を排出しない再生可能エネルギーの電力を使って、水を電気分解して製造する水素のこと。
3	コンバインドサイクル	ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせた高効率の発電方式のこと。高温・高圧の燃焼ガスをタービンで膨張させて得られる回転エネルギーにより発電機を回転させて発電するとともに、ここで生じた高温の排出ガスから熱を回収して蒸気を発生させ、蒸気タービンを回して発電する。
4	自立型水素等電源	燃料電池、水素ガスタービン、水素ガスエンジンなどの分散型電源を指す。なお、燃料電池には、石油・天然ガス等の化石燃料を用いて水素を生み出し燃料とする改質型燃料電池と水素をそのまま燃料とする純水素型燃料電池に大きく分類でき、純水素型燃料電池は水素をそのまま燃料とするため、CO ₂ を全く発生させずに短時間で発電することができる。また、これらは非常時にも利用することができる。
5	副生水素	主として産業用途として工場等で副産物として生み出される水素のこと。
6	ブルーカーボン	海洋生物に大気中の CO ₂ が取り込まれ、吸収・固定された炭素のこと。
7	メタネーション	水素と CO ₂ からメタンを合成する技術のこと。
8	洋上ウインドファーム	海岸線から離れた沖合いに設置した複数の風力発電装置からなる風力発電所のこと。
9	FC	Fuel Cell (燃料電池) の略称。水素と空気中の酸素を反応させて電気を起こす。
10	LNG バンカリング	船舶の燃料として LNG (液化天然ガス) を供給すること。
11	MCH	Methylcyclohexane (メチルシクロヘキサン) の略称で、トルエンに水素を付加させて作る液体であり、水素キャリアの一つ。
12	RTG	Rubber Tired Gantry Crane の略で、タイヤ式門型クレーンのこと。ヤードとトレーラーとの間のコンテナ受け渡しを行う。

